

各 位

令和 6 年 4 月 吉日

南部国語の会会長 中山厚子

令和 6 年度第 26 回国語教育研究会のご案内

主催 南部国語の会・日本語教育学会 共催 大村はま記念国語教育の会

「豊かな言語生活を拓く国語教育の創造」というテーマで、第 26 回国語教育研究会を開催します。

南部国語の会の月例会では、大村はま先生のご指導で示されたいくつもの大切なことごとを追求し続けてきました。大村先生は、「そこに教師があったからこそ、という何ものかが、はっきりとなければならないのではではないか。ただその活躍のしかたは、教師中心にならず、新しくくふうされなければならないのであると思う。」と述べています。『新しい国語学習の実際』『大村はま国語教室』（第二巻）

今日のデジタル化・AI 化社会への変化の中で、言語活動を通して子どもの生きる力を育成するということは具体的にどうくふうすることなのか、ご一緒に考えていきたいと願っています。このことが、明日への力となりますよう。どうか奮ってご参加ください。

【テーマ】 <豊かな言語生活を拓く国語教育の創造>

【日 時】 令和 6（2024）年 6 月 23 日（日） 受付開始 9 時 30 分 閉会 16 時 30 分

【会 場】 さいたま市文化センター 3 階大集会室 336-0024 埼玉県さいたま市南区根岸 1-7-1

【プログラム】

10:00 開会行事 全体司会 中村敏男（国際学院埼玉短期大学）

10:15 研究 I 実践研究協議会 司会 山下直（専修大学）

●全体会【小学校】平 和樹（越谷市立川柳小学校）

「わたしの献立はこれ！ースピーチによる構成の学習ー」

【中学校】間下智司（鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校）

「生活に読書が浸透する指導の工夫

ー本とともに生きていく読書への思いを文集にする試みー」

【高等学校】三沼紀子（埼玉県立浦和北高等学校）

「「協調学習」における「主体的・対話的で深い学び」の視点で『こころ』を読む

ー互いの視点を通じて学習者自身が読みの深まりを実感できる学び合いを目指してー」

●研究協議会

【小学校】司会 榎引千恵（八潮市立八條小学校）

指導講評 山下直（専修大学） 金子正（久喜市立鷲宮小学校長）

【中学校】司会 甘楽裕貴（お茶の水女子大学附属中学校）

指導講評 本橋幸康（埼玉大学） 檜垣幸久（三郷市立彦成中学校長）

【高等学校】司会 勘米良祐太（武蔵野大学）

指導講評 熊谷芳郎（聖学院大学） 初谷和行（武蔵野大学）

●全体会【分科会報告】古川久理子（川口市立新郷東小学校）・三沢采子（さいたま市立内谷中学校）・諸井秀文（元公立中学校長）

【総括】 山下直(専修大学)

12:40 昼休み 放映「大村はま創造の世界—7 とこしえの扉をたたく旅—」大空社 DVD

13:30 研究Ⅱ 証言「大村国語教室の学習のてびきの実際」

荻谷夏子(大村はま記念国語教育の会理事長) 中山厚子(南部国語の会会長)

14:35 <休憩 10分>

14:45 講話 甲斐雄一郎(大村はま記念国語教育の会会長)

15:35 展望 桑原 隆(日本国語教育学会会長)

16:25 閉会行事

【会費(資料代込み)】 一般 3,000円 南部国語の会会員・学生 2,000円

【懇親会】「庄屋」南浦和駅前(ミスタードーナツの2階5:30~)…4,000円

【参加申し込み】参加は事前申し込み制、先着順に定員100名です。費用は全て当日受付にて。

申し込み期限 5月1日(水)~6月19日(水)迄。

1 次の6点を記載し、メールで下記アドレスまでお申し込みください。

① 名前(ふりがな) ② ご住所 ③ メールアドレス・携帯電話番号 ④ 所属

⑤ 一般・南部国語の会会員・学生の別 ⑥ 懇親会参加有・無

○ 件名は「第26回国語教育研究会申し込み」です。

○ 宛先 南部国語の会事務局メールアドレス kokugokyokuken@jcom.zaq.ne.jp

2 メールをご使用でない方は、上記①~⑥をご記入のうえハガキでお申し込みください。

○ 宛先 南部国語の会事務局 中山方 〒330-0045 さいたま市浦和区皇山町25-16



《ご昼食など》駅周辺に飲食店もあります。会場で昼食をとっていただくことができますので、軽食をご持参いただくこともお考えください。なおゴミのお持ち帰りにご協力をお願いします。個数限定で、お弁当の販売もします。

【会場アクセス】

JR 南浦和駅(京浜東北線、武蔵野線)

西口より徒歩7分

〈南浦和駅からバス利用の場合〉

駅西口より

2番乗り場 南高を経由する路線 または

3番乗り場 辻五反田経由田島団地行き

乗車1分で「文化センター」下車徒歩1分